

給食だより

令和5年度 4月号 No. 1

この4月から保育園に入園されたお子さんにとって、園生活は人生において、初めての社会生活でもあります。保育園での生活は、大勢の友達との集団生活です。みんなと一緒に遊んだり、食べたり、眠ったりなど、新しい体験の連続です。こうした生活に慣れるまでの間は、ご家庭でも食欲が低下するなどの影響が出るかと思しますので、早寝・早起きの生活リズムを作り、朝食をしっかりと食べて1日をスタートできるようにしていきましょう。

給食室では、普通の給食・アレルギー食・離乳食・病気対応食として、一人一人の子どもたちの体調・成長に合わせて給食を作っていますので、朝は、元気いっぱいでも前日に発熱・下痢・嘔吐・元気がないなどの症状があった場合には、担任・給食室までお伝え下さい。また、給食やおやつレシピが必要な方は、お渡しできますのでお知らせ下さい。

今年度も子どもたちのパワーに負けないよう、美味しい給食を作り頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

～食育について～

年長児さんは、5月から毎週水曜日に30分ほど食に関するゲームやお話、箸の持ち方練習、クッキング、野菜の収穫などを通した食育の時間を取り入れていきます。その中で、学んだ事がご家庭の食卓で話題の一つになると嬉しいです。

その他にも全園児を対象に、月に一度『絵本から飛び出したおやつ（給食）』という取り組みを行っています。おやつの前に絵本を読んでもらい、その絵本に出てきたおやつをみんなで食べて楽しんでもらいます。この様子は、毎月の給食だよりで紹介していきますので楽しみにしておいて下さい。

給食職員の紹介

北村 知美（栄養士）

旭ヶ岡保育園に勤めて20年が過ぎました。子どもたちや保護者の方からたくさんの言葉を掛けて頂き、子どもたちと一緒に成長することが出来ました。これからも、「保育園の給食が一番美味しい！」と言われてもらえるように、愛情を込めて給食を作っていきたいと思っています。

吉原 朋子（調理師）

笑顔いっぱいの子もたちからいつも元気をもらっています。「先生、給食（おやつ）美味しかったよ。」と声を掛けてもらった時は、心が温かくなります。今年度も安全でおいしい給食作りに取り組み、心を込めて努めていこうと思います。

森田 優子（調理師）

給食には、子どもたちの好きなメニューやおやつもたくさんあります。子どもたちが楽しみにしてくれるように、安全でバランスの良い給食を提供していきます。給食をたくさん食べて元気な体を作りましょう。

江頭 美佳（調理師）

昨年の11月からお世話になっております。旭ヶ岡保育園の給食はすべて手作りで、子どもたちに喜んでもらえる工夫をされとても感激しました。これから私自身も給食・おやつを楽しみながら、美味しい給食を作りますので、よろしくお願いします。

